

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1361 号	氏名	赤司 良平
学位審査委員	主査	工藤 崇	
	副査	江石 清行	
	副査	西野 友哉	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、簡便に測定可能な動脈硬化の指標である CAVI(Cardio-ankle vascular index)と冠動脈造影時に行った IVUS (Intravascular Ultrasound) の所見の関係から、冠動脈プラークの不安定性の予測可能性評価を行ったもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 IVUS から求められるプラーク組織性状を含む複数の所見と、CAVI の所見を定量的に評価し、影響する複数の因子を統計学的に調整して解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、CAVI から得られる動脈の硬さの指標と、IVUS を用いたプラーク組織性状評価から得られる冠動脈の不安定プラーク（特に necrotic プラーク）の量・割合の間に有意な関連性が見いだされた。解析に影響する交絡因子を調整した後の多変量解析でも CAVI の所見は冠動脈の不安定プラークの独立した予測因子であることが明らかとなった。この関係は特に急性冠動脈症候群例で明らかであった。外来で簡便に施行できる CAVI により、冠動脈疾患患者のプラーク不安定性のリスク層別化が可能であることを示唆する結果であり、今後の循環器診療・予防医学への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は循環器学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと